

太田電機工業所が
携わっている
工事をご紹介します！

イマココ！



今月から阿久根市営春畑住宅の改修工事に入っていきます。今回の改修は4部屋で、浴室などの給排水給湯設備の改修工事です。お住いの皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、老朽化した住宅の設備を新しくして気持ち良く生活するための改修工事です。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。



～ 自立した在宅生活と 介護負担の軽減を支援します ～

トイレの自立を支える 福祉用具・住宅改修

トイレの使用頻度は高齢者になるとどうしても多くなります。適切な用具を設置するなど、トイレを安全に使えるようにすることや、介護負担が軽減できる環境を整えていくことが大切です。排泄の自立やケアは、本人の尊厳を守る為にとっても重要です。一日に何度も使う場所だからこそ、段差の解消や補助手すり、換気や冬の暖房も含め、安全・快適さを考えてみましょう。

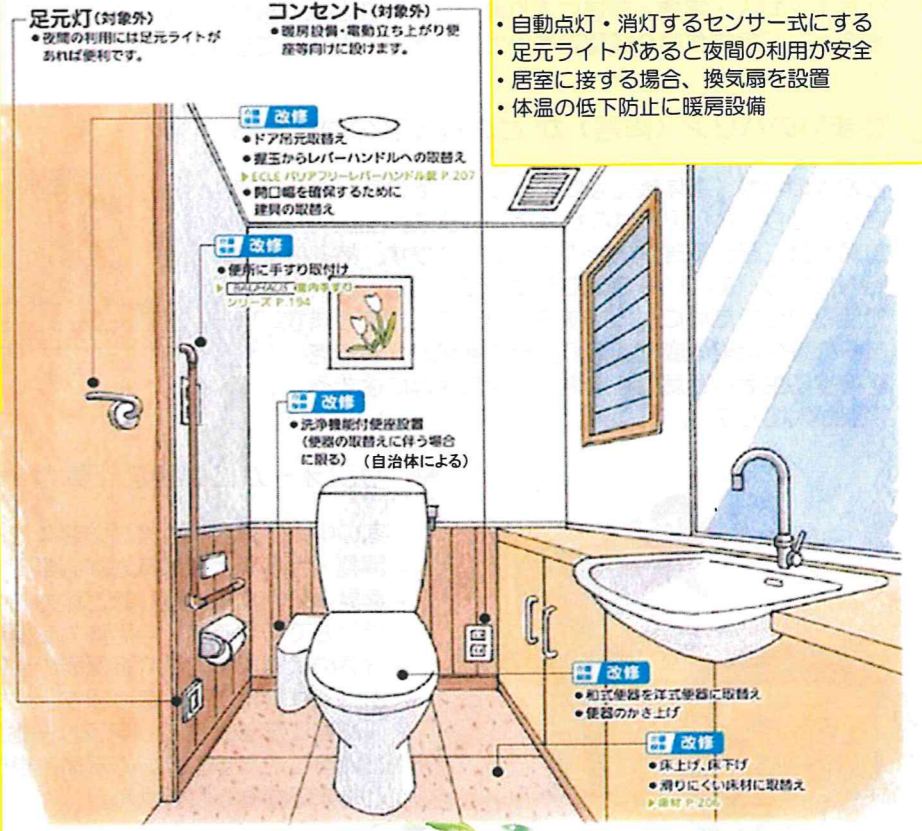
出入り口・扉

- ・ドア吊元取替 (ドアから引き戸へ)
- ・ドア握り玉からレバーハンドルへの取替
- ・敷居の段差をなくす
- ・錠は緊急時に外から開けられるものにする
- ・開口幅を確保するために建具の取替



照明・換気

- ・自動点灯・消灯するセンサー式にする
- ・足元ライトがあると夜間の利用が安全
- ・居室に接する場合、換気扇を設置
- ・体温の低下防止に暖房設備



トイレフレーム

トイレ使用時の座位安定と立ち上がり、補助手すりがあると安心です。(レンタル品)



置き型手すり

壁と便器が離れていたり、壁に取り付けられない場合床置きや天井と床で支える突っ張り型が有効です。(レンタル品)



壁付手すり

便器の立ち座り動作に合わせ、縦や横の型、L型などを壁に設置。(住宅改修)



トイレリフト

足腰の弱い方や立ち座りに不安を感じる方に。シャワー洗浄機能付き。(購入品)



便器・床材の変更

- ・和式便器を洋式便器に取替
- ・据置式便器 (和式便器の上に置いて腰掛け式)
- ・段差や便器に合わせ床上げ、床下げ。
- ・滑りにくい床材に取替。(住宅改修)

コロナ禍 だからこそ・・・ おうち時間を快適に！

新型コロナウイルス感染症予防対策のために、私たちの暮らし方、働き方、学び方など様々なことが変化し「新しい生き方」が必然的に求められて3度めの春。ワクチン接種に加え、マスク・手洗い・消毒や三密を避けることが常態化したようですが、まだまだ外出には緊張感がつきまといまいます。そんな中、自宅での生活を少しでも快適に、ほっとする空間にするための、身体と心が楽になる住宅設備をご提案いたします。

住まいの アドバイス

ひとつ



ダウンシーリング FreePa (センサ)

トイレ用
ON/OFF型 ペア点灯はできません。
(100V交流電)

わずかな動きでも、点灯をキープ。微動検知タイプのセンサを搭載。人が入ると自動でON、出るとOFF。わずかな動きまで感知し、微動検知タイプのセンサを搭載し、点灯をしっかりと保持します。

微動検知タイプ



微動検知



消灯お知らせ



消灯お知らせ



100%点灯



人がいなくなると自動消灯



帰宅後もすぐに自動水栓で手洗いができると清潔キープで安心ですね。

トイレの照明は消し忘れが多く困りもの。自動点灯・消灯だと安心です。

キッチン誰でも使いやすいカウンタータイプなら、高齢になっても椅子に腰かけて、台所仕事がラクチン。自動水栓はこれからのキッチンに必須です。

消灯お知らせ機能を搭載。消灯前に明るさをやさしく落とし、前もって消灯をお知らせ。トイレ空間が突然真っ暗になることを防ぎます。



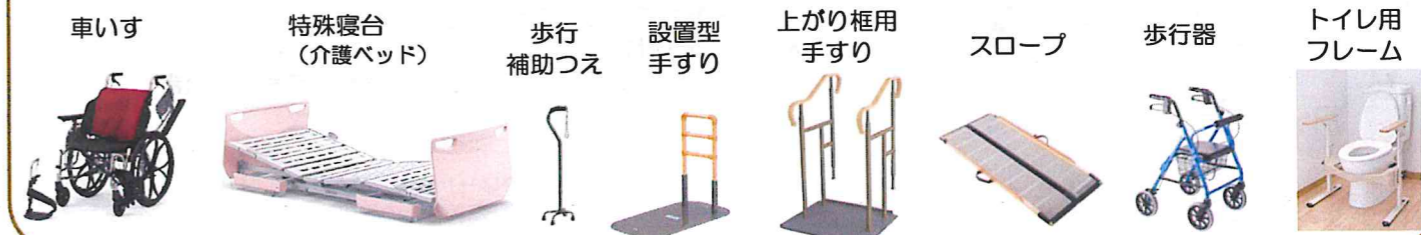
便器内自動洗浄、きれい除菌、蓋の自動開閉など、ストレスなく使用できる機能があると嬉しいですね。



でんきと水とエアコンの (株) 太田電機工業所

阿久根市港町65番地4
TEL:0996-73-2800
出水市大野原町304番地
TEL:0996-63-1966

介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください！



自宅のバリアフリーリフォーム

ポイントは「住み心地よく環境を整える」こと

自宅をバリアフリーにしようと考えるとき、年齢や身体の状態や経済状況などにより、考慮すべきポイントは変わります。

たとえば、
60歳ぐらいで特に健康上の不安もなく生活している方、
70歳を過ぎて少し健康に不安が出てきた方、
80歳を過ぎて移動に不便・不安を感じている方、
介護保険の要介護認定を受けている方など。
その方の状況により必要となるバリアフリーの内容は変わります。
バリアフリーにしようと思立った動機が、たとえば
「友人・知人・家族・報道により触発され、我が家を振り返った」
場合と、「家族が要介護認定を受けた」場合でも違ってきます。

住まいのバリア（障害）がどの程度なのかを知る

住む人の年齢、身体機能等によっては、その箇所がバリアになったり、バリアではなかったりします。
加齢と共に起きる身体機能の変化に気づかず、ある日突然転倒したり、あるいは変化に気づいていても、慣れと我慢で使い続けたためにケガをするということがあります。
自らの身体機能の変化を知り、身体を動かし機能を維持する生活へと意識を変え、安全に快適に住まう視点が大切です。



リフォームに必要な「気力・体力・経済力」

家の中の不具合や改修が必要なことを家族に了解してもらったり、調整・合意などには気力が必要です。リフォームの場所によっては家具の移動や引っ越しなど体力も必要です。またそのための費用の問題もでてきます。自治体の支援制度が使える場合もあります。介護の状態次第では介護保険の住宅改修制度が使えますが、規模によっては費用も高くなります。一つ考えておいてほしいことは、「高齢になるほどバリアフリー化に必要な費用を出しにくくなる」ということです。自分の寿命と掛けるコストのバランスを考えることも大切かもしれません。

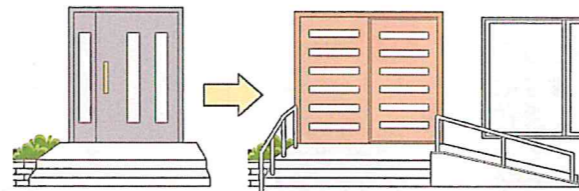
将来の生活をどのようにイメージするか

住まいのバリアフリー化には、今の生活だけでなく、将来の生活を快適かつ安全にするという目的があります。
平成24年（団塊世代が60歳を超えた時期）に内閣府が行った調査『団塊世代の意識に関する調査』で「団塊世代の住まいの意向」をたずねたところ、「今住んでいる家に住み続けたい」という回答が8割を超えていました。住み慣れた地域の風景は着慣れた服のように心や体になじんでいます。そして地域には友人・知人もいます。その状況が「今住んでいる家に住み続けたい」と感じさせるのではないのでしょうか。

住まいのバリアフリーは「住み心地の良さ＝アメニティ」を求め、つまり生活の様々な負担を無くし、安全で快適な生活を求めていくものといえます。「人生100年時代」といわれます。これからの生活をより充実し、楽しくするための住まいの環境整備を考えていきましょう。

人生100年時代「新バリアフリー」住まいづくり.netより抜粋
NPO法人 高齢社会の住まいをつくる会
<https://kourei-sumai.com/wp/>

体の衰えや傷病をきっかけに、住まいをバリアフリーにリフォームしたいと考える方が増えています。改修する前の考え方やポイントをお伝えしたいと思います。



第11回

わかりやすい書類整理

超売れっ子 整理収納アドバイザーがお伝えする

日々を整えて

いまいまライフを見つけよう~♪



全てのお宅で『書類整理』は、簡単にいつでも出来そうです。なぜなら軽くて【要・不要】を直ぐに判断出来るからです。逆に直ぐ取り掛からなければ、あつという間にたまっていきます。新聞紙や郵便物等がその一例です。家にはありとあらゆる書類が混在しています。今回は、誰にも出来る簡単な整理方法をお伝え致します。

①要・不要に分けるタイミングを決める。

郵便物やDMなどは即、要・不要を判断出来るかもしれませんが、通帳やお薬手帳のような綴られているものは迷いますね。例えば、約5年前まで保管というように保管期間を決めることも大事です。家の登記簿や間取り図、保険証書等は、永久保管。重要なモノを綺麗に保管し、家族で情報共有していたら、万が一ご家族が入院ということになっても、保険証書やお薬手帳をすぐに出すことも出来ます。通帳の印鑑や重要なものは契約者本人しか分からず、慌てたという事例もあります。特に重要書類の整理はとても大切です。相続などにも関わる大切な書類ですので何処にあるか分からないという方は、今からでもしっかりと所在を確認することが大切です。



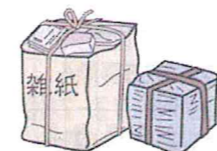
②ファイリングして見やすくする

紙は積み重ねていくと、探し出せず紛失しやすくなります。町内会の資料、ごみ出しのカレンダーなど頻繁に見るモノは薄いクリアファイル。保証書や取扱説明書は厚いファイル等、使用頻度にあわせられるものが100円ショップ等にもたくさんあります。ご自身の扱いやすいものを、是非、要・不要の選別を兼ねて収納して下さい。毎年確定申告をする方は、医療費の領収証や源泉徴収票、それらに関連するレシート等も1つのファイルにまとめておけば申告時に楽になります。財布や机の引き出しに適当に書類を入れてしまうと、必要な時に探す時間がかかり、イライラしてしまうかもしれません。



③なるべく紙をためない努力

紙だけではありませんが、リサイクル、資源ごみとして出せるモノは沢山あります。地域のルールを守って、速やかに指定された分別ゴミの日に出す。そして溜め込まないことが紙の整理では一番大切です。通販のカタログやチラシなど『買うことがない』とわかれば、直ぐに処分出来ると思います。ため込むと、まとめた書類を持つことも億劫になりますね。季節の良い今の時期に窓を開けて、すっきりと整理して夏を迎えたいですね。



講師プロフィール



山崎 真美
(やまさき まみ)

鹿児島市生まれ。鹿児島純心女子短期大学卒業後、MBC開発(株)不動産事業部に10年間勤務の後、結婚。夫が経営する(有)エコテックでは整理収納のアドバイスや心地良い住まいの提案の他、出張整理業務もやっている。他に、半日型デイサービス・通所リハビリ施設レッツ倶楽部鹿児島を運営。住宅業界で培った、30年間の経験を生かし高齢者住宅における安全な収納の提案や、自身も思春期の子供をもつ視点から、子育て世代の収納の悩み解決など幅広い世代に向けて、整理収納を中心としたセミナーを各地で開催し好評を得ている。さつま町在住。
・整理収納アドバイザー1級・ルームスタイリスト1級
・介護環境整理士・整理収納教育士 他資格多種。